

潤滑油タンクの組立及び設置要領 (JT-251BC・JT-491BC) (JT-251BCP・JT-491BCP)

設置される前に本説明書をよくお読みください。
又、読み終わった後も、保管くださるようお願い致します。



組立要領図

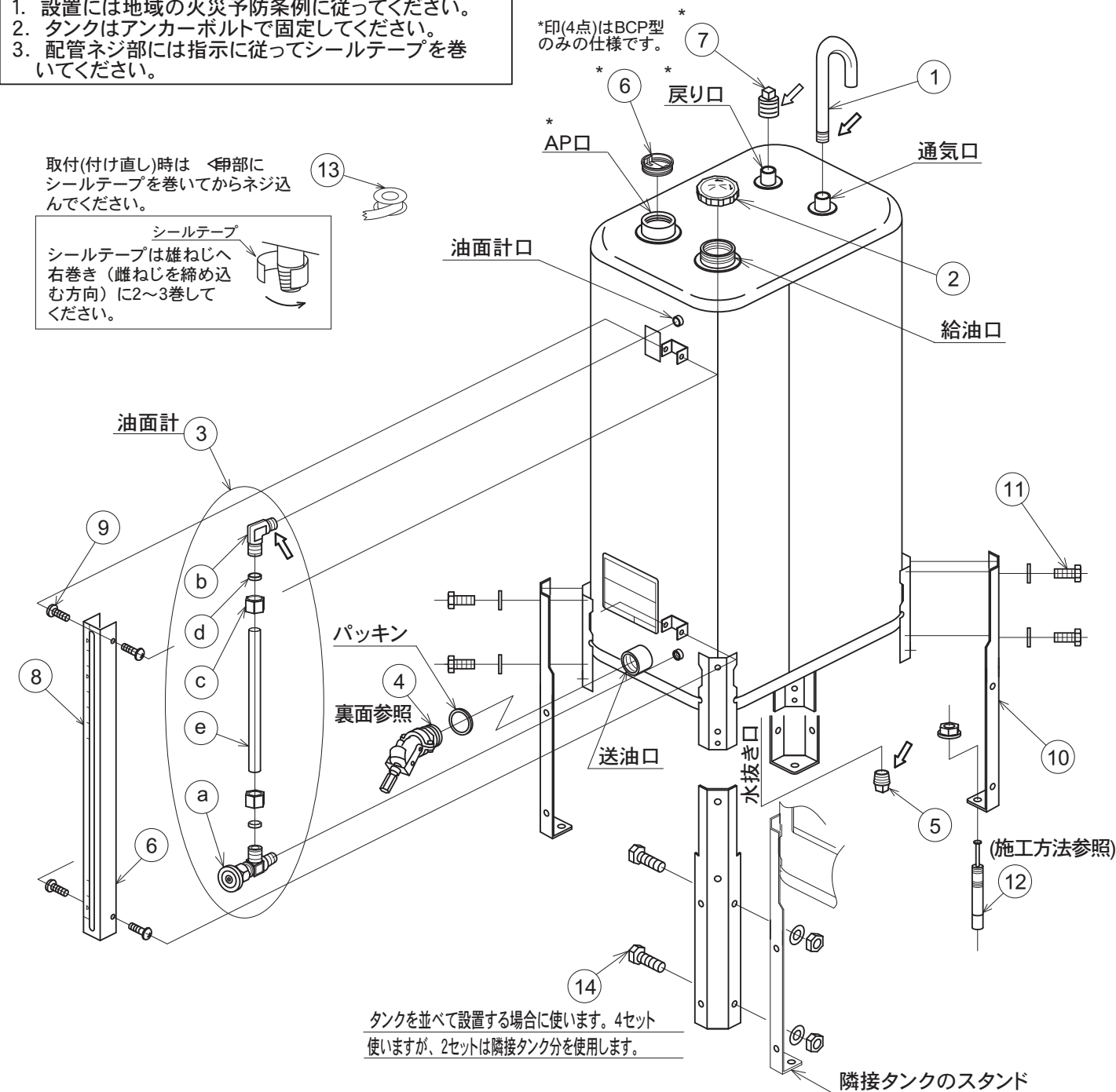
組み立て前に付属部品の確認を行ってください。
工場出荷時に組立済みの部分はそのままご使用になれます。

設置時のご注意

1. 設置には地域の火災予防条例に従ってください。
2. タンクはアンカーボルトで固定してください。
3. 配管ネジ部には指示に従ってシールテープを巻いてください。

取付(付け直し)時は、**印部**にシールテープを巻いてからネジ込んでください。

シールテープは雄ねじへ右巻き(雌ねじを締め込む方向)に2~3巻してください。



タンクを並べて設置する場合に使用します。4セット使いますが、2セットは隣接タンク分を使用します。

隣接タンクのスタンド

付属部品の名称と個数						アンカーボルトの施工方法			
符号	名称	個数	符号	名称	個数	符号	名称	個数	
1	通気管	1	5	プラグ(1/2)	1	13	シールテープ	1	
2	給油口キャップ	1	6	AP口プラグ	1	14	連結用ボルトセット	2	
a	SVバルブ	1	7	プラグ(3/4)	1	符号6と7はJT-251/491BCに付属いたしません。			
b	SVエルボ	1	8	油面計ガード	1				
3	SVナット	2	9	十字穴付なべ小ねじ	4				
d	Oリング	2	10	スタンド	4				
e	SVゲージ管	1	11	スタンド取付ボルトセット	8				
4	オイルコック	1	12	アンカーボルトセット	4				

1.穴あけドリル径 10.5mm 有効深さ 55mm~60mm

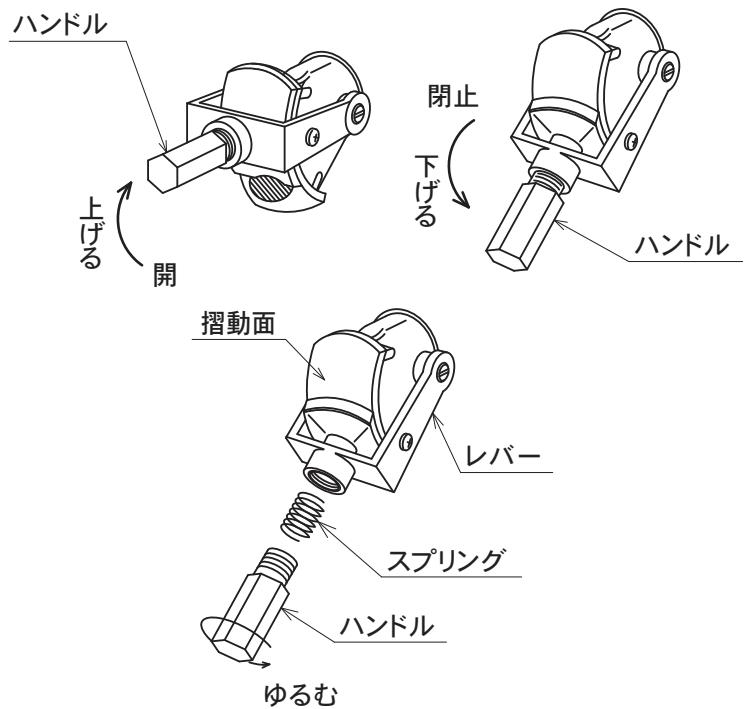
2.穴の中を清掃後アンカーをセットしハンマーでピンを打ち込む

3.タンクをセットする

4.ナットを締めタンクを固定する。

オイルコックの操作

1. オイルコックはハンドルを持ち上げると"開"となり押し下げると"閉止"になります。
2. オイルコックハンドルは開・閉止操作時以外は締め込んでください。
3. オイルコックハンドルは締め切った状態から3回転以上ゆるめないでください。ハンドルが抜け落ちてオイルが漏れます。
4. オイルコック吐出口摺動面に傷を付けないでください。傷が付くとオイル漏れの原因になります。

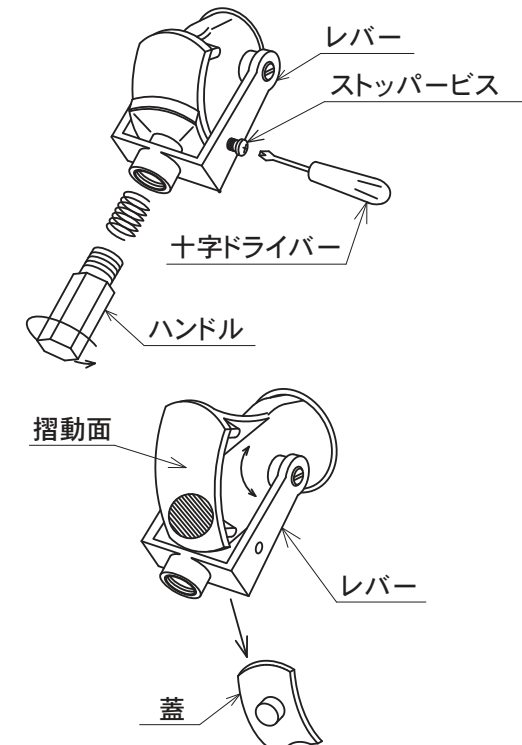


オイルコックの交換

オイルコックの摺動面は使用による磨耗でオイル漏れを生ずることがあります。オイルが摺動面よりニジミ出したらすみやかにオイルコック又はオイルコックの蓋を交換してください。

蓋の交換手順

1. タンク内のオイルを全部抜き取ります。
 2. オイルコックストッパービスを十字ドライバーでゆるめます。
 3. ハンドルをゆるめてレバーから外します。このときにハンドル内のスプリングが飛び出しますので紛失しないでください。
 4. レバーを押し下げてオイルコック蓋を摺動面より外し、新しいオイルコック蓋を取り付け、レバーを持ち上げ十字ドライバーでストッパービスを確実に締め込んでください。
 5. ハンドルの中にスプリングを入れレバーにねじ込んでください。
- [ご注意]
スプリングの最大荷重は200N(20kgf)以上ありますのでハンドルのねじ込みには力がいらいます。



お問い合わせ

◆この説明書の内容や、火災予防条例で不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせください。
火災予防条例は所轄の消防署でもお聞きになれます。

◆お問い合わせ先

株式会社 オーティ・マッソー (<http://www.ot-matto.co.jp>)

〒924-0852 石川県白山市四ツ屋町1234 Tel. 076(275)3185 Fax. 076(275)3187

◆施工された方は下欄に記入の上お客様にお渡し下さい。

施工年月日		施工会社名	
担当者名		連絡先	